

# JAAC だより

## お詫び

この度は、本紙執筆・編集担当者の都合により、『JAAC だより8月号』が予定通り7月の発行日に発行できず、皆様にはご心配とご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。つきましては、本紙9月号と合わせて『JAAC だより8月・9月合体号』として発行させていただきますので、何卒、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

今後とも、引き続き皆様のご愛顧を賜りますよう執筆・編集活動に努めてまいります所存でございますので、益々のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

JAAC 日米学術センター  
JAAC だより担当  
照井 紀久夫

## 新学期を迎えるにあたって

### — 履修計画の重要性 —

JAAC 生の皆さんにおかれましては、それぞれ思い思いの夏休みを満喫されたことでしょうか。帰国して、ご家族や友人たちと楽しい時間を過ごされた方、就職活動の準備を始められた方、アメリカに残ってサマースクールに参加していた方、また、アメリカ国内をご旅行された方もいらっしゃるでしょう。楽しかった夏休みも終わり、いよいよ今年も新学期が始まりますね。自分なりの今年度の目標を決めて、新たな気持ちで新学期を迎えましょう。

誰もがご存じの通り、アメリカの教育システムは非常にフレキシブルなことで知られています。たとえば、大学で履修している科目を途中で取り止めても、成績には影響しない方法もありますし、また、再履修することも比較的容易です。しかし、そのことに甘えすぎていては本末転倒になりかねません。皆さんが就職活動をする際には、結果としての GPA 成績も大事ですが、卒業時の GPA は在学中にどのような科目の取り方をした結果なのか、ということも考慮されることを覚えておいてください。単に履修している科目の成績が悪くなりそうだから、今学期は履修を止めるという策は、中長期的な科目の履修計画に基づいているようにも思えますが、そこには、もっと熟考して計画を立てていたなら途中で履修を止めることもなかった、という反省が必要でしょうし、また、それこそが履修計画と言えるべきものなのです。

近年の就職面接のあり方をみていますと、第一回目の業務担当者との面接の際には、企業によっては海外大学出身者が面接担当者としての任にあたっているケースが増えているようです。このことが意味することは、海外大学出身者を見極める目がより厳しくなったとも思われることです。時代の流れとともに、もはや海外大学出身者は決して珍しい存在ではなくなってきているわけです。以前は、日本の大学出身者の場合は大学時代の成績も重要な要素でしたが、海外大学出身者の場合は、海外に留学していた、という事自体が成績の良し悪しよりも評価されていたこともありました。しかしながら、海外大学出身者の数が増加するとともに、採用側としてはさらに厳しい篩（ふるい）に掛ける必要が生じてきているようです。今年（2012年春）卒業した日本の大学生のうち、約25%の学生が『就職できなかった』、或は、『就職しなかった』という理由で、仕事に就いていません。このような厳しい状況下においては、同じ土俵に乗った2人のうちのどちらかを最終的に選ぶという選択になった時、よりプラス（+）点が多い候補者を選ぶのか、それともマイナス（-）点が少ない候補者を選ぶかは各企業担当者によって異なりますが、いずれにしてもマイナス（-）点が少ない方がより良いことに変わりはないのです。

私、個人としては、JAAC 生の皆さんにはそれぞれの大学において、興味のある科目を自由に、思いっきり勉強してもらいたい、という気持ちがありますが、それだけではますます厳しさを増す就職活動に打ち勝てないという現実をあらためて感じている次第です。どうか、卒業までに必要な履修科目を再確認しながら、それらをいつ履修するのか、という基本的な履修計画を綿密に立ててください。ご質問やご不明な点は早めに各カウンセラーに相談しましょう。（照井）

**注意喚起：蚊によるウイルス感染**

アメリカ中西部を襲った洪水被害の影響で、「ミズーリ州とイリノイ州のミシシッピ川沿岸でのネッタイエ蚊とアカイエ蚊の大発生への恐れ」という記事が出ました。これらの蚊は西ナイル熱の原因となる西ナイルウイルスを媒介する種として知られています。昨年はこの種の蚊に刺されたことが原因で死者も出ておりますので、JAAC 生の皆さんには確かな情報を継続的に得ながら、普段からの注意を怠らないようお願いいたします。蚊に刺された場合は、単なる虫刺されと軽く捉えずに、おかしいと思った際には必ず医師に相談してください。

**3.11 震災被災地の現状を想う**

光陰矢の如し。昨年の3.11大震災からまもなく1年6ヶ月を迎えようとしています。被災地の現状は、今でも多くの方々が仮設住宅に住まわられていて、早くも今年の冬の到来の準備を進めていらっしゃる方々も大勢います。何よりも、住民の方々が就ける仕事が少ないことが安定した生活を送ることが難しい要因の一つとなっています。様々なボランティア団体による炊き出しや、多彩なイベント活動の開催等を通して、現地の方々への支援が続いています。こうした支援活動を通じて、現地の方々と触れ合うことはとても重要なことで、被災地の方々にとってはこのような機会が唯一、心の拠り所になっています。『自分たちは忘れ去られているのではないか・・・』という不安と常に隣り合わせの心境は、現地の人々の精神状態を不安定にさせている要素の一つでもあり、そして、それはやがて全てに対する不満となり、未来への諦めの境地に発展しかねません。最近では、徐々にではありますが、地元の人々が率先して仕事を再開したり、新たに起業するというケースも出てきました。しかし、何事をするにも必要な『人・物・金』が圧倒的に不足している現状は否めません。被災地の人々が自立へ向かって歩み出そうとしている今、私達には、私達なりにできることがあるはずで、少しでも、彼らのためになることを考えてみませんか？ いや、そういう時間をまず、持つことから始めましょう。

**－ ロンドン・パラリンピックを観る －**

ロンドンでは今、パラリンピックが行われている。オリンピック選手らの凱旋帰国の報道に比べると、パラリンピック選手の報道は小さめに見える。それはしかたがないこととしても、パラリンピックも応援しなければならない。**Paraplegic** (半身不随)と**Olympic** (オリンピック)という言葉を組み合わせてできた名称の『パラリンピック』だが、視力障害者らも参加するようになったことから、今では**Parallel** (平行)という言葉を組み合わせて『(平行して行う)もう一つのオリンピック』と解釈するようになった。(1985年以降)。私は今のこの解釈の仕方が好きだ。スポーツを志す者に健常者と身障者の分け隔てがあってはならない。

**【編集後記】**今夏から就職活動を始めている JAAC 生の皆さん、今までの結果がどうであれ、皆さんならきっと大丈夫！ 最後まで諦めないで、頑張りましょう！ 何かご相談があればいつでもご連絡ください◆ロンドン五輪では過去最高のメダル数を獲得した日本選手団。本当に、ご苦労様でした。しかし、パラリンピックが終わるまでは五輪は終わっていませんよ。パラリンピック選手らの活躍こそが、我々に夢と希望を与えてくれるのではないのでしょうか■領土問題で日中韓の間で摩擦が生じている。日本は中国と韓国の2ヶ国を相手に外交を進めていかなくてはならない。外交問題の難しさに加えて、歴史認識という根深い問題が背景に横たわっている。大丈夫か・・・、ニッポン？▼シリアで日本人ジャーナリストが取材中に撃たれて亡くなりました。ジャーナリストとしての仕事を全うした、というお父様のコメントに感慨深い思いを抱いた。仕事に命をかけるとうことに男も女も無い。心よりご冥福をお祈りいたします▲3.11 震災被災地の支援はまだまだ必要です。皆さんの心の中から被災地のことを薄れさせないでください●イチローがNYに移籍した。ドイツの香川もイギリスに移った。プロスポーツ界では日本人が海外で活躍している。JAAC 生の皆さんはどこで活躍しますか？ 次は皆さんの番です！♥種々の事由により JAAC だよりの発行が遅れましたこと、この場をお借りしてあらためてお詫び申し上げます。今後とも、ますますのご支援を賜りますよう精進してまいりますので、何卒、よろしく願い申し上げます。厳しい残暑の折、くれぐれもお身体をご自愛ください。(照井)

Let me remind you . . .

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

- ◆JAAC 生の皆さんへ： アメリカ中西部地域でのネッタイエ蚊とアカイエ蚊によるウイルス感染についての関心を持ち、メディアを通して確実な情報を得るように心がけてください。現時点(8月末)においては、大きな感染被害が出ているものではありませんが、『蚊』の大発生を危惧しているという現状を認識し、各自において注意することが大切です。川や池のほとり、樹木が多く生息している地域などへの立ち入りについては自粛されることを勧めます。
- 就職活動をする JAAC 生の皆さんへ： 希望企業についてよく調べ、海外大学卒業生(見込み者)を対象としたジョブフェア等の情報には必ず目を通すように心がけましょう。就職活動においては、下記までお気軽にご相談ください。
- JAAC 本体内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：  
 フリーダイヤル 0120-525-626 [tokai@jaac.co.jp](mailto:tokai@jaac.co.jp) 担当：高瀬  
 JAAC 日米学術センター 鈴木：[t.suzuki@jaac.co.jp](mailto:t.suzuki@jaac.co.jp) ©カリフォルニア担当：[照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp](mailto:照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp)

